

～ 冬のおもてなし事業 ～

「ロマンチックタテマチ」をキャッチフレーズに冬のおもてなしイベントを実施。商店街のコミュニティスペースを活用して居心地の良い空間をアピールした。また、金沢工業大学との連携によるストリートアート等でイメージアップを図り、若者の利用度の向上を目指した。

所在地：石川県金沢市堅町94-1
 TEL：076-232-2244 FAX：076-234-6152
 URL：<http://www.tatemachi.com/>
 組合員数：116名
 商店街の類型：広域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

金沢市内の中心部に位置し、全長430メートルの街区の両側に衣料品を中心とした160軒ほどの専門店が軒を連ねる商店街。平成17年度から平日を含む通年で12時から19時のあいだ歩行者天国を実施している。これにより昼間の静かな環境づくりはできているが、繁華街の1本裏手で街路灯の設置が遅れていることから、夜間の来街者を増加させる対策が求められていた。そこで商店街全体にイルミネーションを灯し、若い人々に楽しんでもらう本事業を実施した。

実施した事業の概要

冬のおもてなし事業として「遊ぶ」「くつろぐ」「触れる」「眺める」をテーマに、11月から2月という長期間にわたり商店街全体のライトアップに取り組んだ。

①タテマチ広場 イルミネーションツリー点灯式

広場に設置した北陸最大級9.2メートルの大型ツリーと周辺樹木をLEDで装飾。点灯式にはライブやカフェを併設し盛大なイベントとなった。広場全体をXmas一色に染めあげ、期間を通じて若いカップルや家族連れなど約2万人の人出で賑わった。

②ストリートアート

近隣の金沢工業大学（環境・建築部建築デザイン学科、建築学科）と連携してデザイン性の高い装飾を行った。個店のファサード、街路樹などストリート全体を雪の結晶と雪玉をイメージした光のオブジェで装飾し、若い世代にも商店街の魅力をアピールすることができた。

③プロジェクション・マッピング

土日祝日には商店街のコミュニティスペースであるタテマチハーバーにおいて、映像と音楽によるプロジェクション・マッピングを開催した。毎回映し出す映像を変え、雪国ならではの幻想的な冬の風物詩となり、商店街のイメージアップにつながった。

イベントの広報は、フリー雑誌への掲載やWebサイトでの告知などでより多くの方へ情報が広がるように工夫をした。



成果と成功の要因



商店街全体のライトアップは夜間の安心感につながり、幅広い年代層が来街するようになった。また、来街者の賞賛の声を耳にして、大学生は商店街が創造性を育む苗床となれることを確信し、商店街は大学生との連携による新たなイベントの可能性を確信した。

今回の事業の成功要因としては、学生と青年部、店主が連携して新たな事業へ取り組んだことにある。双方の距離感を縮めるきっかけとなり、学生が商店街を訪れる機会が増え、学生が学生を呼ぶ波及効果が生まれた。若者帰帰の手ごたえを感じた商店街では、品揃えを若者を対象とした物へ変えるなど販促活動にも新たな動きが生じつつある。

今後の取り組み

今回の事業を踏まえ、今後も金沢工業大学と連携し、斬新・先進的な企画で若者が来街し賑わう商店街を目指す。今回は冬の事業であったが夏祭や大学のオープンキャンパスに合わせたイベントを企画し、若者の来街数の増加を図っていくことを考えている。資金については、商店街の大きな収益源となっている駐車場の売上を一部充当するほか、新たに新店するテナントからの組合費収入による増額分を充てることを想定している。